

70 周年／ご挨拶

光山電気工業株式会社

代表取締役社長 萩原 洋



おかげ様をもちまして、光山電気工業株式会社は、創立 70 周年を迎えることができました。これもひとえに お取引先各社をはじめといたしまして、ご協力者の方々、地域の皆様、株主様のご指導、ご支援の賜物と深く感謝いたしております。

戦時中に 日本電気株式会社の疎開工場であった前身を、終戦の翌年 1946 年（昭和 21 年）に 先代小淵光平と日本電気株式会社の技術者 皆谷孝二が中心となり“光山電気工業株式会社”としてトランス・コイルの巻線工場を発足しました。これが今から 70 年前の光山電気工業株式会社の始まりです。

電話の普及にあわせトランス・コイルの需要は高まり業績は毎年向上しました、1957 年（昭和 32 年）には交通信号の大手“日本信号株式会社”とも取引を開始し、日本の戦後復興の象徴である 通信インフラと交通インフラの充実にうまく事業を絡ませ、社是にある“文化生活の向上”に役立ちました。

1970 年（昭和 45 年）には日本電気株式会社から 当時最先端の半導体関連の製品”H I C 厚膜混成集積回路“の導入をし、その後日本電気株式会社の代理店として商品の販売・O A 機器用の磁気記録製品の生産等を手掛け、1988 年（昭和 63 年）には海外に生産基地を拡大し 従業員総数 1,000 人を上回るまでに成長しました。

しかし 2000 年（平成 12 年）以降 韓国メーカーの台頭などに依り日本国内の半導体生産は減少して、光山電気の半導体・磁気製品の受注も減少してくるようになりました。

これからの光山電気工業株式会社は、日本電気株式会社がそうである様にイノベーションによる 新しいもの造りに向けて 社会から喜ばれる製品を一番に考え、絶えず先を見ていくことで、光山電気だからできるものを造って成長していきます。